

「モノ認識」と「モバイル」を中心に IoTで世界を変える

IoT × **AsReader**  Digital Transformation

事業計画及び成長可能性に関する 事項について記載した書面

株式会社 アスタリスク
証券コード：6522

2021年11月



1. 企業情報

- (1) 会社概要
- (2) 経営理念

2. ビジネスモデル

- (1) 事業内容
- (2) 事業の収益構造

3. 市場環境

- (1) 市場規模：バーコード
- (2) 市場規模：RFID

4. 成長戦略

- (1) 既存主力事業
- (2) 新製品の拡販
- (3) 営業力の強化
- (4) 海外展開

5. 事業計画

- (1) 経営指標（KPI）
- (2) 直近実績
- (3) 業績予想

6. リスク情報

1. 企業情報



(1) 会社概要

会社名	: 株式会社アスタリスク
設立年月日	: 2006年9月1日
資本金	: 7億8,940万5千円
本社所在地	: 大阪市淀川区西中島五丁目6番16号
事業所・営業所	: 大阪、東京、名古屋
海外子会社	: 大連（大連事務所、深圳事務所）、ポートランド、ロッテルダム
従業員	: 100名（連結計、2021年8月末日現在）（注）
経営陣	: 代表取締役執行役員社長 鈴木 規之
	取締役 熊本 尚樹
	取締役 加藤 栄多郎
	取締役 山本 和矢
	社外取締役 辻本 希世士
	社外取締役（監査等委員） 石田 泰一
	社外取締役（監査等委員） 岩崎 文夫
	社外取締役（監査等委員） 山元 教有



代表取締役執行役員社長 鈴木 規之

(注)最近1年間の平均臨時雇用者数(パートタイマー、人材会社からの派遣社員を含む。)17名を含んでおります。

経営理念

ITを通じて、三方笑顔（お客様の笑顔/社員の笑顔/世間の笑顔）を創造し、人類・社会の進歩発展に貢献します

- 1、自己の良心をもって、信頼と安心を築き、三方笑顔を創造します
- 2、早さを追求し、スピードあふれる行動をもって、三方笑顔を創造します
- 3、新しいIT技術、斬新なサービスをもって、三方笑顔を創造します

アスタリスク人の宣言

- 1、プロとしての熱意！
- 2、徹底の徹底！
- 3、土俵の真ん中で相撲をとる！
- 4、時間軸を第一に！
- 5、目的、ねらい、コンセプトの明確化！
- 6、夢のある提案をし続け、固定客化！
- 7、何事も「数値」をもって行動！
- 8、常に明るく前向きで、楽しむことを工夫する！



2. ビジネスモデル



「モノ認識」と「モバイル」のアスタリスクです。



ITを通じて皆様の会社を笑顔にするお手伝い

人や情報、あらゆる物を認識する技術、それを「モノ認識」と呼んでいます。

“画像認識”や“バーコード”、“RFID”、“センサー”、“AI”などの技術を駆使した「モノ認識」と、スマートデバイス等の「モバイル」とを活用することで、多種多様な業態でDX（デジタルトランスフォーメーション）の実現をサポートします。

モノ認識

主力商品

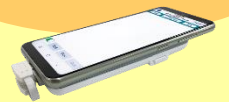
バーコード



RFID



IrDA



展開中

画像認識

AI

今後の取り組み

センサー

(1)事業内容

店舗

- カーポートマルゼン
- パロー
- エイチ・ディ ベースモード
- 中部薬品
- 東急ハンズ
- 青山商事

病院

- 岸和田徳洲会病院
- 大阪警察病院
- 三重大学医学部附属病院
- 近畿大学病院
- セコメディック病院
- 鳥取大学医学部附属病院

その他

- ユカ
- エスシー・マシーナリ
- 大塚商会
- 長谷エコーポレーション
- ほくやく

工場

- 川崎重工業
- トヨタ自動車

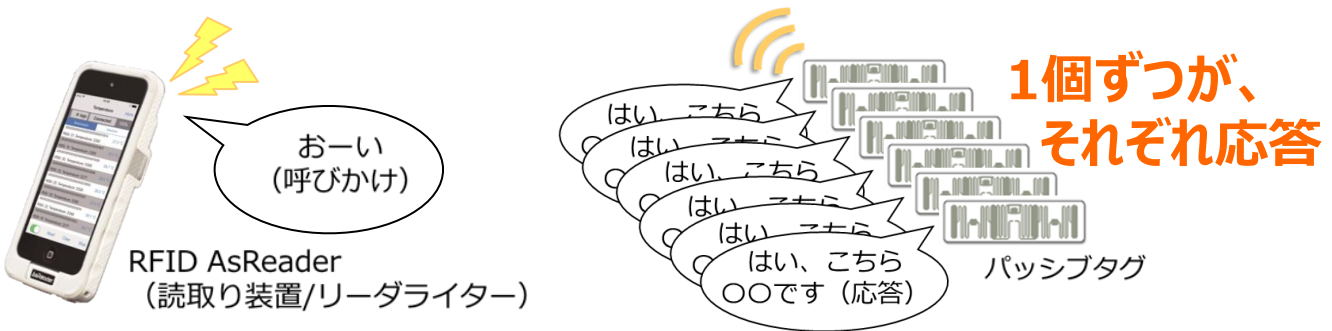
海外

- 欧州消防車

国内や海外の主に大手企業で採用されております。

RFIDとは…「Radio Frequency Identification」の略

電波を用いてRFタグのデータを非接触で読み書きするシステム
電波が届く範囲であれば、タグが遠くにあっても読み取りが可能



あらゆるモノにRFタグがつけられることで、
モノまたは人の様々な状況変化を的確に捉えることが可能となります。


非接触通信

遠くのタグも読み取れるので高いところのタグ等も読み取り可能！
作業時間の短縮はもちろん、
作業者の安全確保にも繋がります。



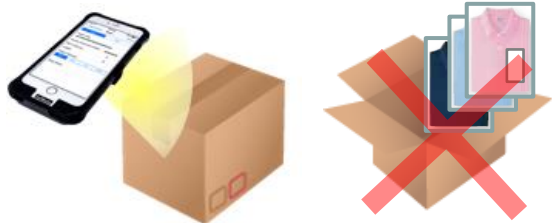
一括読み取り

複数の商品が入っていても一括での読み取りが可能！
バーコードのようにひとつひとつ読み取る必要がありません。



透過性

箱などを開けなくても読み取り可能！
作業効率が大幅にアップします。



IrDAとは…赤外線を利用した近距離データ通信の技術標準を策定する業界団体
自動販売機内の販売情報を取り出す際にも使用されている赤外線通信の規格。

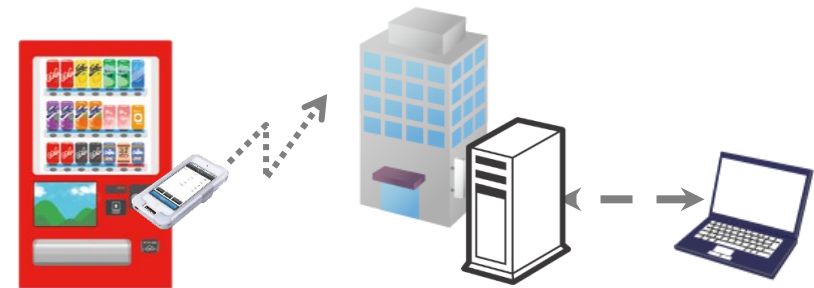
◆ 自動販売機設置事業者向けに特化した赤外線通信AsReader

自動販売機業界の販売情報を赤外線通信により読み取り、
取得したデータをインターネット通信回線を使用してサーバー等へ送信することが可能



<実際の使用事例>

自販機からの取得データを
直接、サーバー等へ送信。



リアルタイムで最新情報の確認が可能。

リアルタイムでデータ送信ができるなど今までの問題点を解決した上に、
迅速なデータ分析や顧客対応が可能に。

複数の大手飲料メーカー（バンダー）や自販機オペレーター各社で導入され、
ハードだけでなく自販機設定用ソフトウェア開発もあわせてご提供しています。

AsReader事業

AsReader® : 当社製品のブランド名

◆「自動認識技術を使った製品・サービス」の開発・販売

スマートフォンやタブレットなどに代表されるモバイル機器による業務改革をコンセプトに、モバイル機器に装着して使用するバーコードリーダーやRFIDリーダーなどのハードウェアの開発・販売を中心に事業を展開。



ハンディタイプ

GUNタイプ



iPhoneやAndroid等の
スマートフォンに装着し、使用



AsReader事業

◆ストックビジネス

● 保守売上

AsReaderの販売拡大に伴う保守による売上。
(AsReader製品の長期保証サービス)が増加しており、
2021年8月期保守売上実績は**189百万円**となりました。

故障だけじゃない! 壊してしまっても業務を止めない保守サービス!

AsReader Care PLUS 3年 5年



AsReader Care PLUSは、普通の保守サービスとはケタ違い!
通常使用による劣化や損耗による不具合はもちろん、
お客様の使用方法や不注意に起因した破損・損壊でも無償交換します。



故障原因不問!

先出しセンドバック

※受付後、2営業日出荷

本体無償交換

※原因は問いません

回数制限なし!

バッテリー交換 (通常7,000円)

※新規購入後、及びバッテリー交換後、1年以上経過しているものが対象

※交換機は6ヶ月経過後対象

保証期間: 3年/5年

だから

- 予算 新規確保不要
- 修理費 見積り不要
- 業務 根回し不要

● アプリライセンス売上

AsReaderの運用をサポートするためのアプリ「AsReaderApps」のライセンス使用料による売上。
AsReaderAppsはAsReader標準対応の業務アプリになります。
このアプリを使用しなくともAsReaderの活用は可能ですが、
システム開発の必要がなく、すぐに導入・運用が可能となります。
2021年8月期アプリライセンス売上実績は**9百万円**となりました。

AsReader Apps

 **AsZai** 在庫管理
 **AsCount** 棚卸
 **AsReport** データ収集
 **AsRegi** 売上管理

【Apple社認定商品：MFi】

フルスペル：Made For iPhone, Made For iDevices

読み方：エムエフアイ

別名：Apple MFi

MFiとは、AppleのiPhoneやiPod向けにサードパーティが製造した周辺機器（アクセサリ）類のために用意されたAppleの認可制度およびロゴの呼び名である。



AppleはiOSデバイスの周辺機器を製造販売するサードパーティ向けに一連の技術資料を提供している。これらの仕様に準拠した製品は審査を経てMFiに認可される。MFiは、所定の性能や品質基準を満たした製品であるという保証と位置づけられるため、サードパーティ製品とはいえある程度の信頼性がある（粗悪品ではない）と判断できる。多くはAppleの正規品よりは廉価であるが無認証の製品よりは高めの価格帯で販売されている。

【電波法（RFID）】


（1）ユーザーの免許

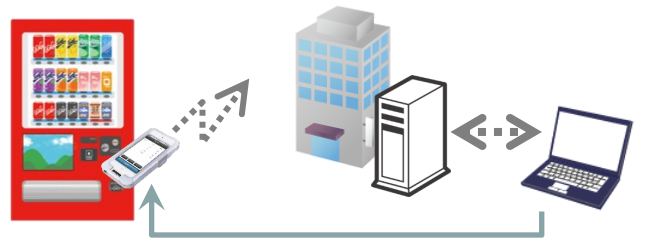
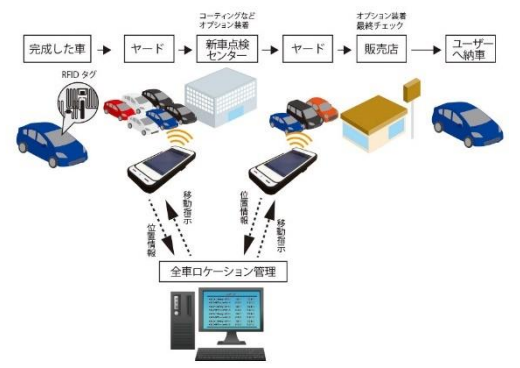
（2）機器メーカーの免許（構内無線局及び特定小電力無線局） ・技術基準適合証明（技適）

国内では、RFID機器は一部の無線局を除き、無線機器扱いとなり、指定の機関で電波法令 で定めている技術基準に合致した機器であることを証明することが義務付けられている。

・工事設計認証（型式認定） 高周波利用設備機器対象のRFID機器は、工事設計認証（型式認定）を受けることで、ユーザは 総務大臣の設置許可なしに設置が可能となる（同一製品の大量生産時に有効）。

・微弱無線局 発射する電波が著しく微弱な無線局は、電波法令で規定された以下の電界強度値が指定された機関の証明があれば免許なしで設置することができる。但し、電力伝送が必須なRFIDでは 交信距離が短い。

業界	利用シーン
小売業界	<p>POS（「Point Of Sales」（販売時点情報管理）の略）レジや発注業務、在庫管理などで利用されております。</p>  
物流業界	<p>配送管理として導入されリアルタイムでの配送状況の把握や電子サインによる受領証などの書面の電子帳票化などに利用されております。</p> 
医療業界	<p>看護業務での3点照合（担当看護師、患者のID、薬剤）や、薬剤のピッキングなどに利用されております。</p>   

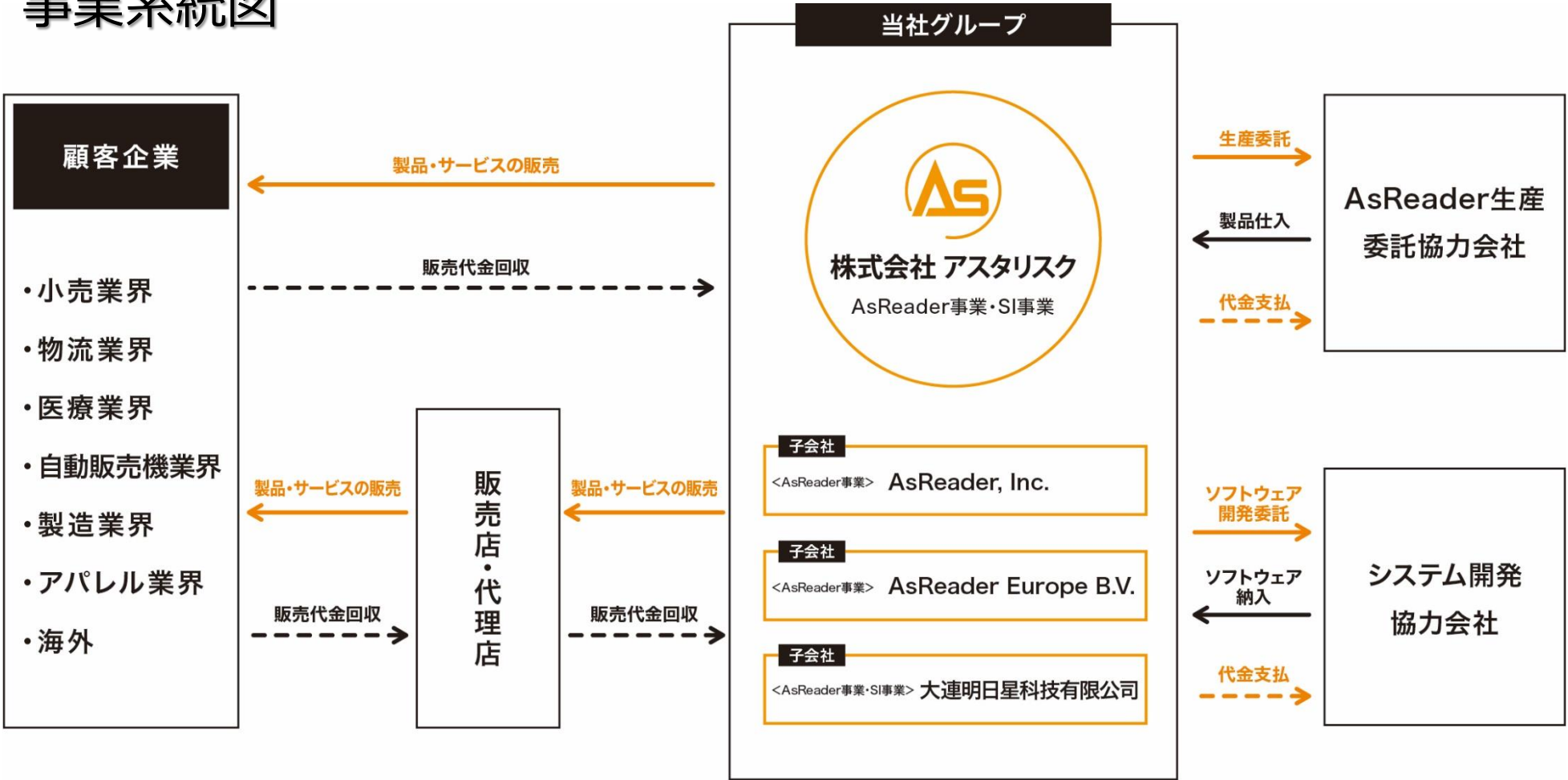
業界	利用シーン
自動販売機業界	<p>自動販売機設置事業者向け専用端末（IrDA）を開発しリアルタイムでのデータ送信により、迅速なデータ分析や顧客対応に利用されております。</p> 
製造業界	<p>在庫管理、新車搬入管理、生産ラインの点検、部品の調達から廃棄までの追跡などに利用されております。</p> 

システムインテグレーション事業

- ◆ **ハードウェア、ソフトウェア、ネットワークなどを組み合わせて、ユーザーに最適なシステムの構築を推進**
 モバイル端末で使用するアプリケーション及びネットワークなどを連携させ一体化することで、業務のスマート化を推進し、業務の効率化に貢献しております。
 また、当社グループが提供したアプリケーションやシステムについて、運用・保守・管理も実施しております。



事業系統図

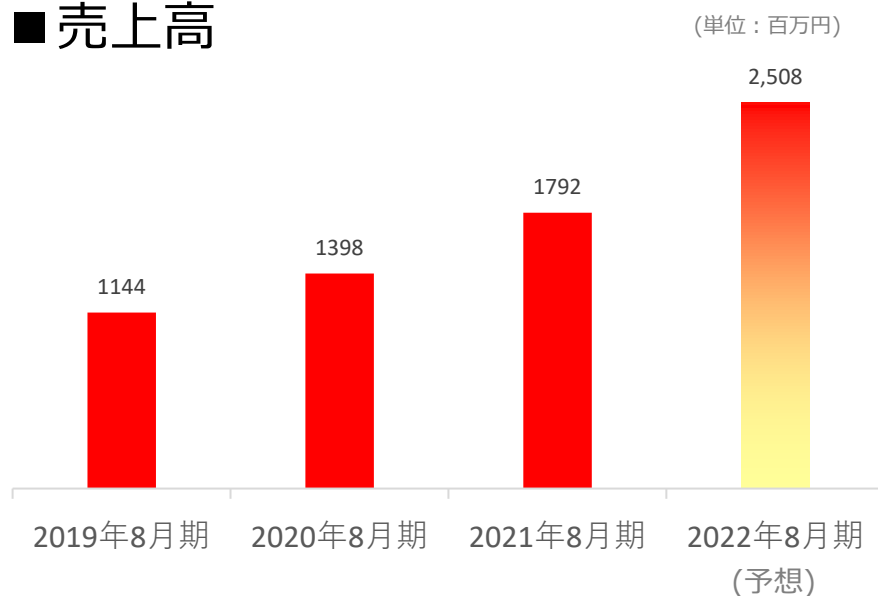


業績推移 ※各グラフは連結の金額で作成しております。

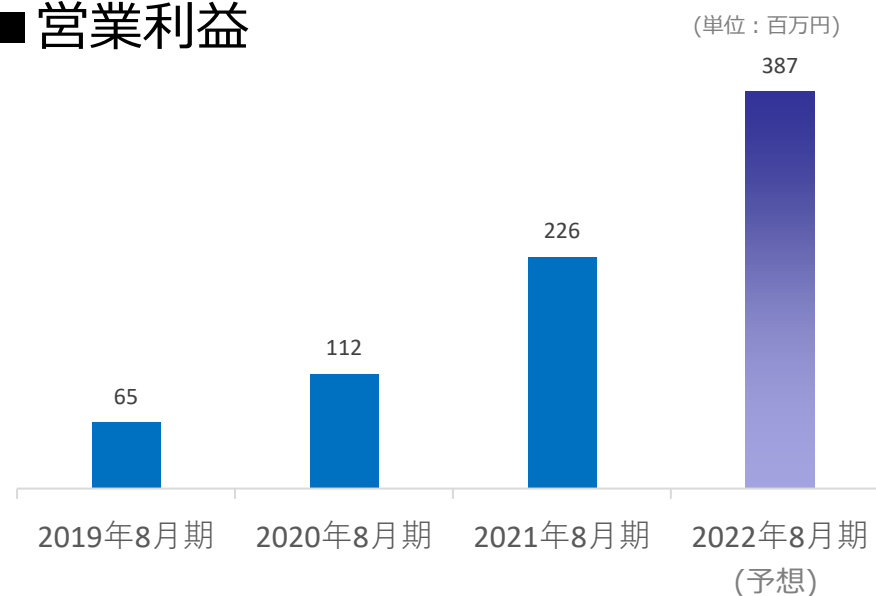
さまざまな業界でDX(IoTを活用した自動化、業務効率化)の流れが加速している中で、当社の主力商品の「AsReader」は、かかる世の中のニーズに対し、専用コンピュータがパソコンに置き換わったように、ハンディターミナルのような既存の各種専用端末が汎用性の高いスマートフォンに置き換わり、「スマートフォンで業務を行う」ことで、多様なソリューションを提供することにより、市場競争力の強化、国内外のシェアの拡大を見込んでおります。

また、自動認識技術を活用した新製品として、セミセルフレジ(「人検出・動体追跡」技術を活用したスーパーマーケットなどでのレジ精算における係員負担軽減と不正精算を抑止するソリューション)や、画像認識安全監視システム「AsWatcher」(「画像認識」技術で進入禁止ゾーンへの人の侵入を検知して警報するセキュリティ強化ソリューション)の拡販を目指しております。

■ 売上高



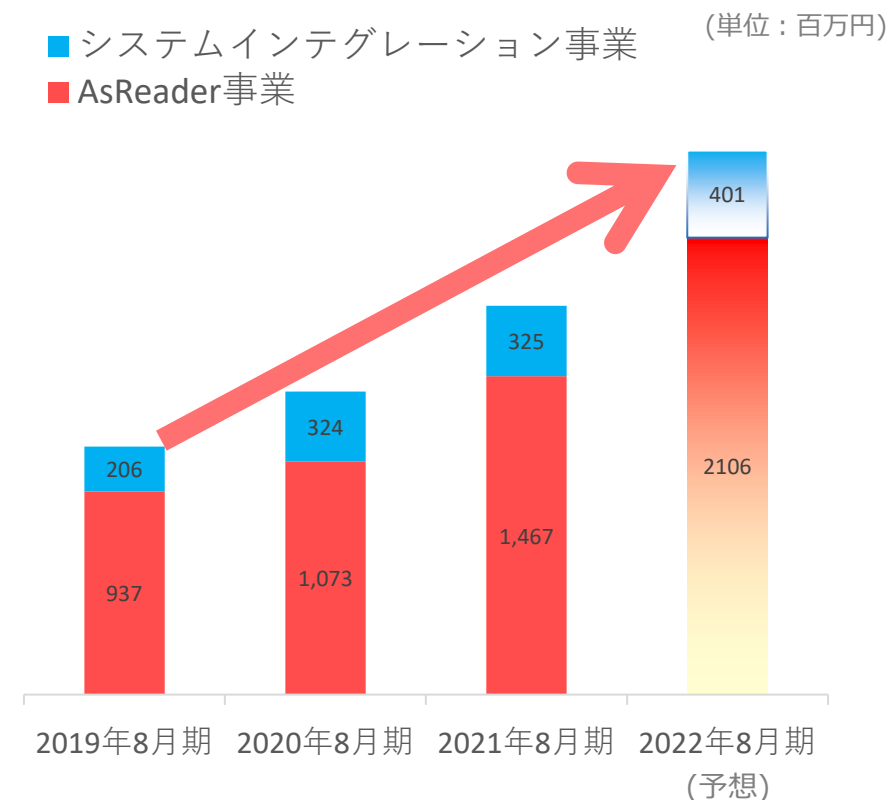
■ 営業利益



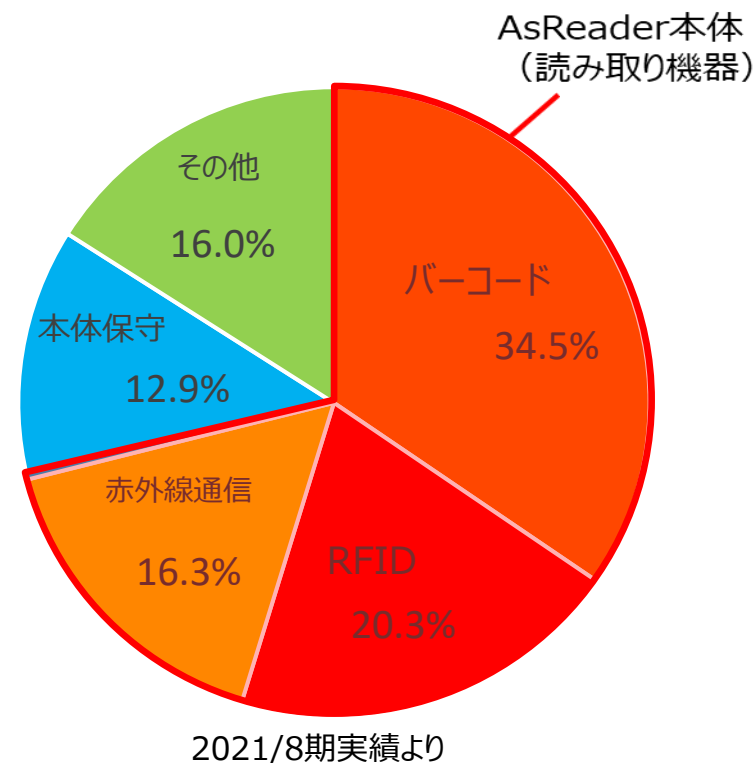
業績推移 ー事業ごと

AsReader事業を主軸に、システムインテグレーション事業は単独のシステム開発ではなく、AsReaderを利用するシステムの開発をメインに展開している。

事業別連結売上高



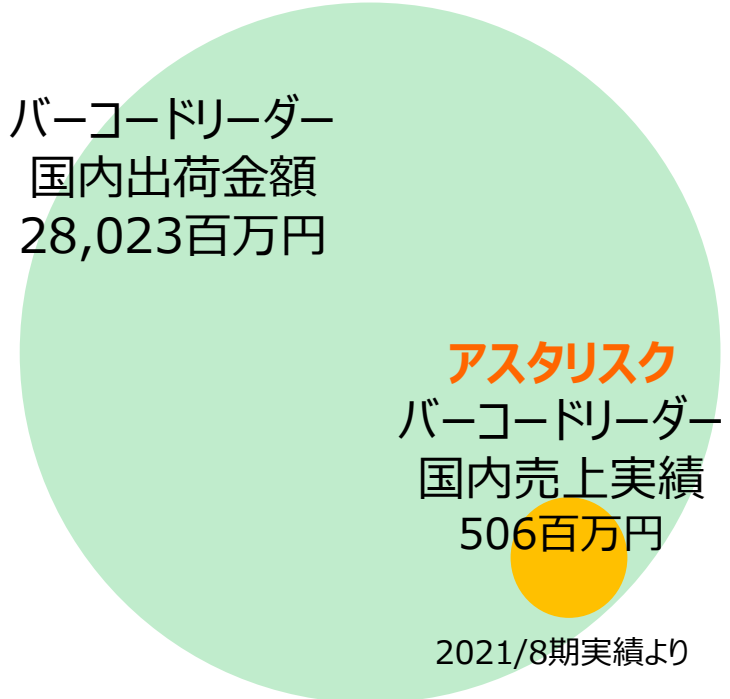
AsReader事業 種類別売上比率



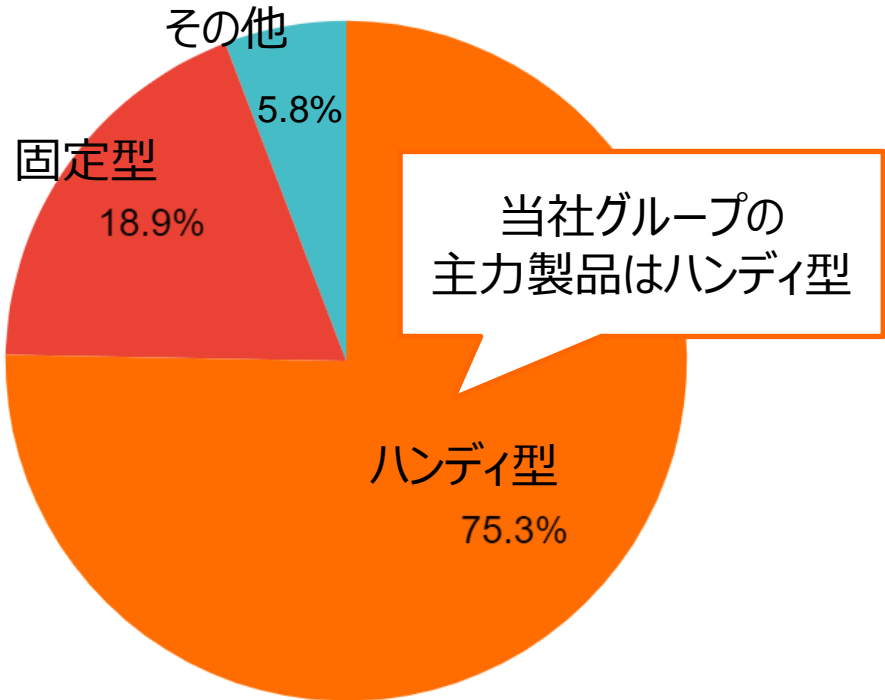
3.市場環境



バーコードリーダーは**280億円**の市場があり、**安定した規模で推移している**。
ハンディ型が主流になってきており、さらなるシェアの拡大が見込まれる。



2020年実績
一般社団法人自動認識システム協会
自動認識市場調査報告書より



製品形態別バーコードリーダー
国内出荷金額 (2020年実績)
一般社団法人自動認識システム協会 自動認識市場調査報告書
2020年1月～2020年12月より

ハンディ型：持ち運び、主に手に持って使用するもの
固定型：台等に固定して使用するもの。レジの読取装置など

ハンディ型バーコードリーダー

スマートフォン利用型が拡大

競合する「専用機」

大企業から中堅企業まで
小売、物流、医療、製造
などで広く利用

スマートフォン
利用型

取り扱っているのは
世界でも数社

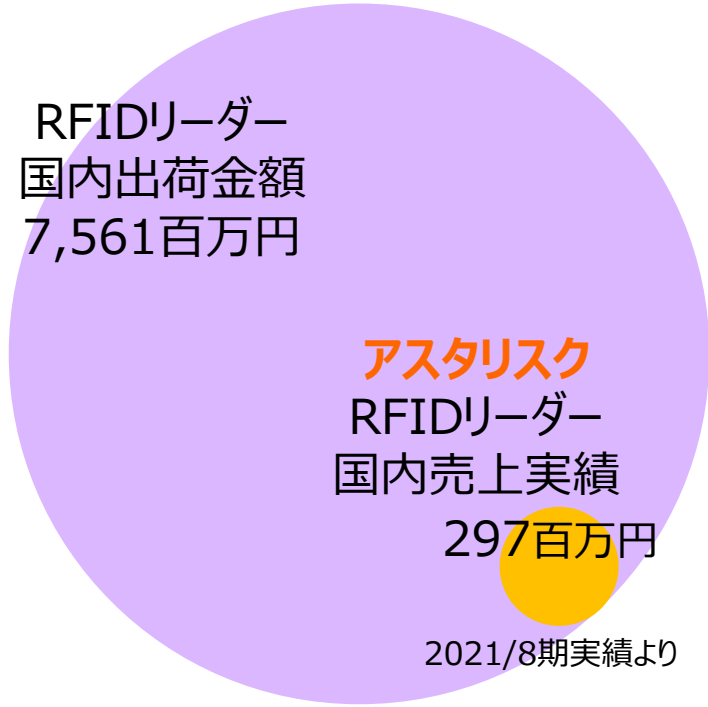
主に、
カメラ利用型 もしくは
無線型
(Bluetooth接続)

AsReader[®]
スマホ一体型

＜当社製品が選ばれる理由＞

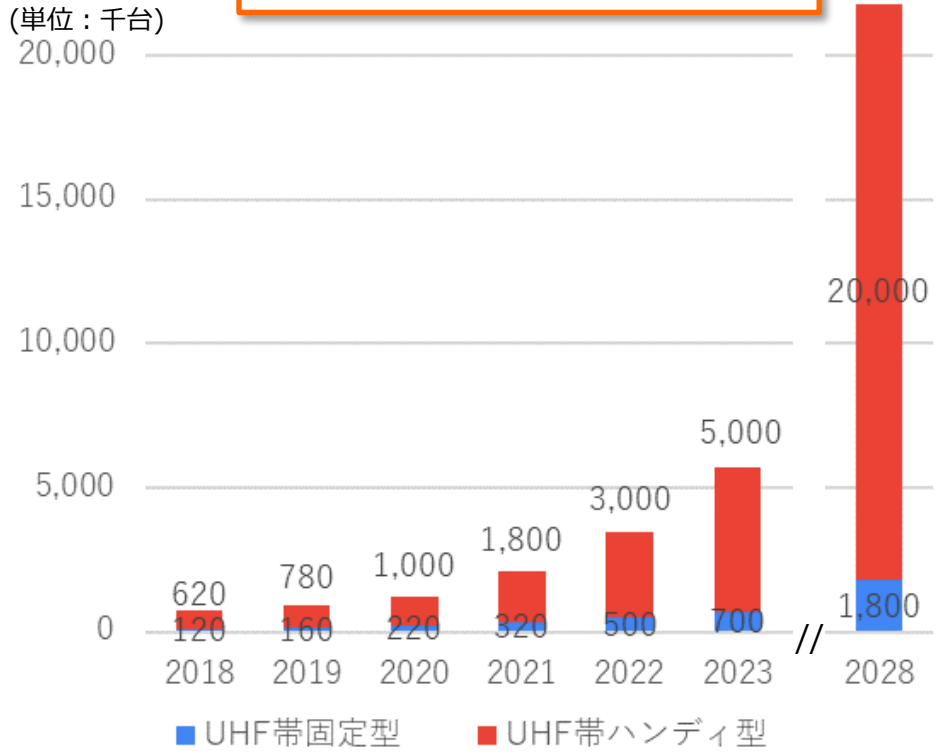
- ・スマホとの一体型のため安定したデータ移管が可能
- ・小型、薄型 高速読取
- ・複数での一斉作業が可能
- ・タッチスクリーンによる操作性
- ・カメラ機能、メール機能などの業務利用が可能
- ・アプリの自由な開発が可能

RFIDリーダーは2020年から2021年の出荷台数でも1.7倍と予想されており、今後飛躍的な台数の伸びが予想されている。



2020年実績
一般社団法人自動認識システム協会
自動認識市場調査報告書より

RFID市場は急速に拡大



UHF帯RFIDリーダー出荷台数(予想/世界)

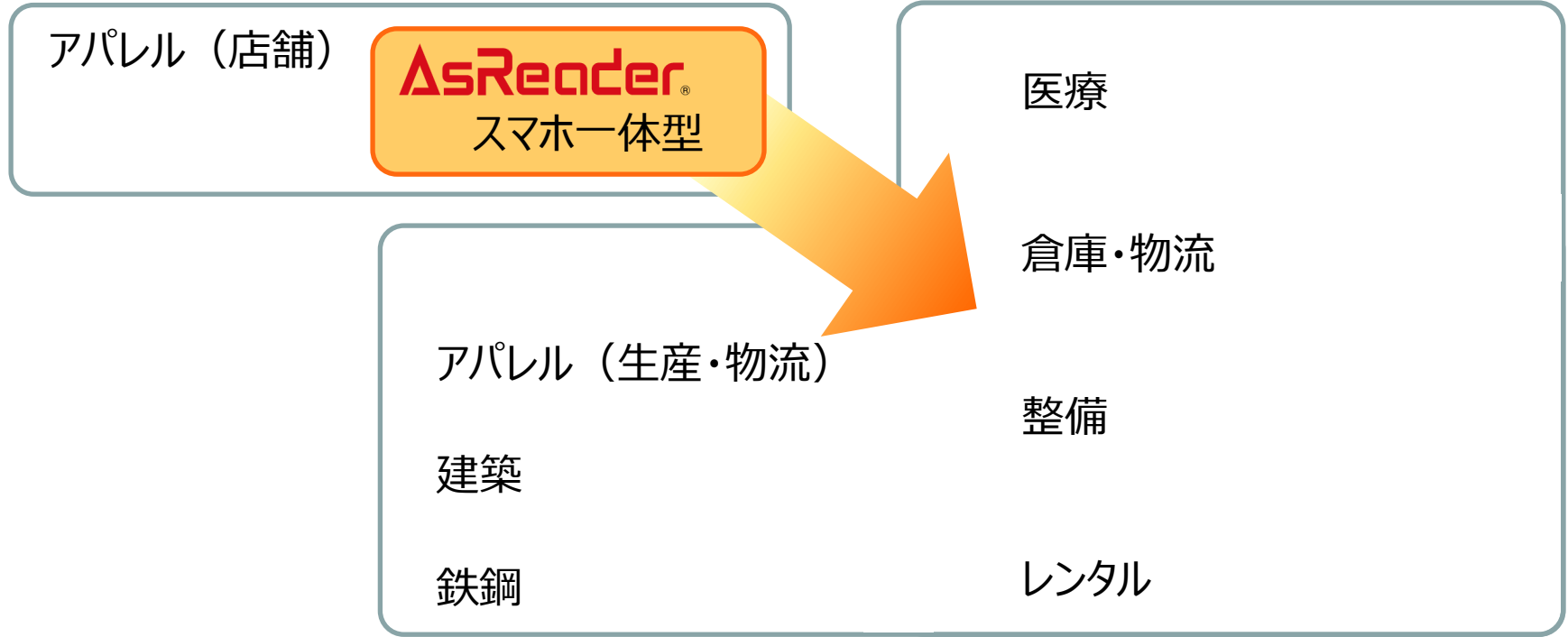
IDTechEx「RFID Forecasts, Players and Opportunities 2018 2028」より
みずほ情報総研作成グラフより抜粋

※UHF帯…RFIDの種類（周波数帯）の一種。数cmの近いところにあるタグから、十数メートル離れたタグも一括で読み取ることが可能で、RFIDの中でも主流となっている。

RFIDリーダー

日本ではメーカーは少なく、海外メーカーの製品が主流。
バーコードリーダーと同様スマホ利用型の拡大が見込まれる。
スマホ一体型のRFIDリーダーは当社のみ。

<業界別>

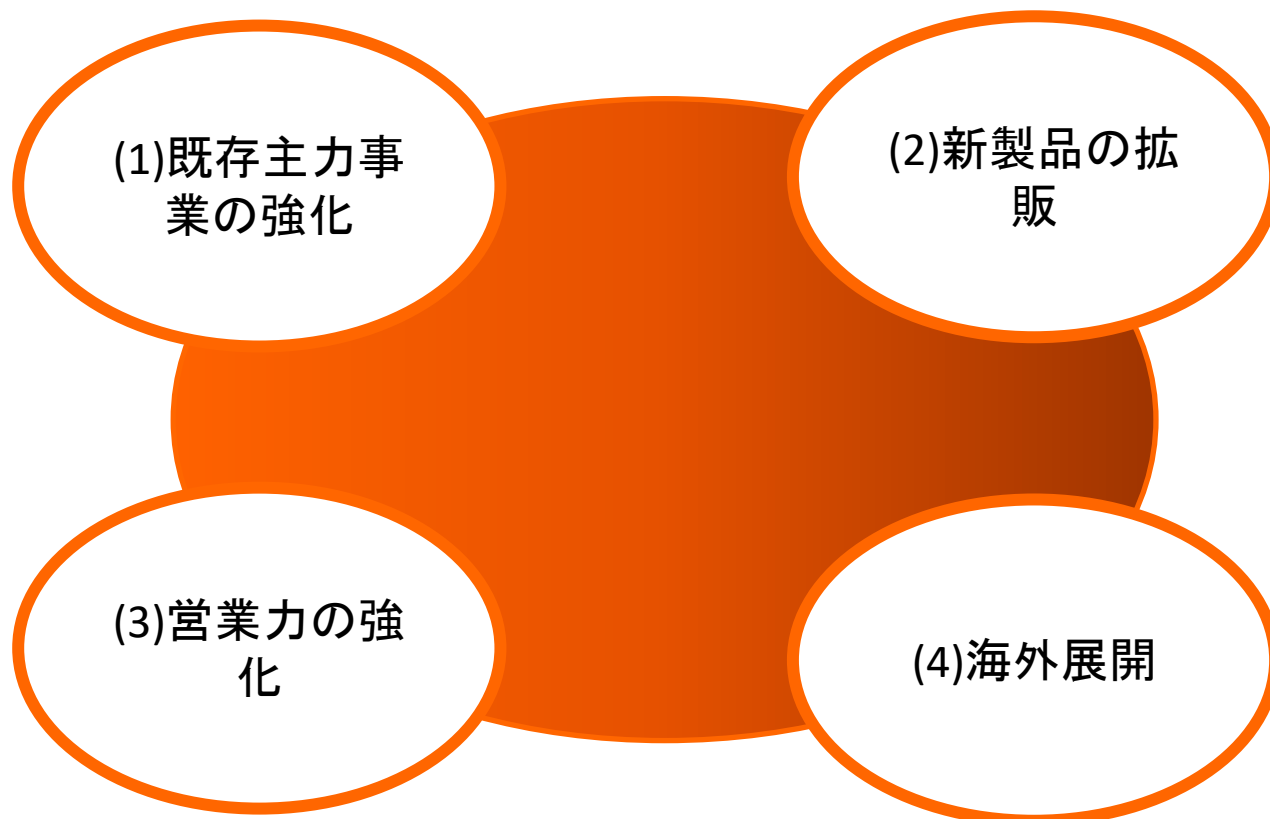


4.成長戦略



さまざまな業界でDX(IoTを活用した自動化、業務効率化)の流れが加速している中で、当社の主力商品の「AsReader」は、かかる世の中のニーズに対し、専用コンピュータがパソコンに置き換わったように、ハンディターミナルのような既存の各種専用端末が汎用性の高いスマートフォンに置き換わり、「スマートフォンで業務を行う」ことで、多様なソリューションを提供することにより、市場競争力の強化、シェアの拡大を見込んでおります。

具体的には、次の4つの施策を軸に、成長を計画しております。



(1)既存主力事業

①スマートフォン装着型リーダーの優位性

従来の専用機では特定の業務でしか使用できなかったが、スマートフォンを利用することで1台で複数の機能を使用することができ、さまざまな業務への活用が可能である。また、専用機より安価で入手できる点や操作性に優れている点もメリットとなっている。



従来の専用機では…

特定の業務のみ



スマートフォンを利用すると…

業務
+
電話、mail、SNS
カメラ、その他アプリ
…etc.

生きた情報をより早く、共有することで、業務全体のスピード化を実現！



スマートフォンの法人利用が増加

スマートフォンの業務利用も拡大しており、バーコードリーダー・ハンディーターミナルなど専用端末からスマートフォンを利用した複合型端末の需要が急増している。

①スマートフォン装着型リーダーの優位性

スマートフォンが選ばれる理由



<スマートフォン>

一般的なスマートフォンは
流通量が多いので単価が安い
修理も取り扱いが多く安い
社用携帯をそのまま使用できる

コスト

<ハンディターミナル>

少数生産のため、高額
メンテナンス費用が割高
取り扱いが少ないため、
修理も高価になる傾向がある



使い慣れており、直感的に操作可能
研修が不要
画面も大きく、入力ミスも削減
タッチスクリーンでの操作が可能

操作性

専用作業的には使いやすいが、
操作を覚えるのが大変
レガシーな物理ボタンでの操作

カメラ・メール・SNSなど1台で解決
スマートフォンの機能を使った
セキュリティも安心
発展性も期待できる

性能

業務専用にて特化
拡張性に難がある
バージョンアップやアップデートが
あまり行われない

OSのバージョンアップや
機能改善にあわせて発展可能

将来性

メーカー独自のOSも多く、
自由な開発がしにくい
専用アプリの開発ベンダーも限られる

流通量が多いので、修理できる
販売店も多い

保守

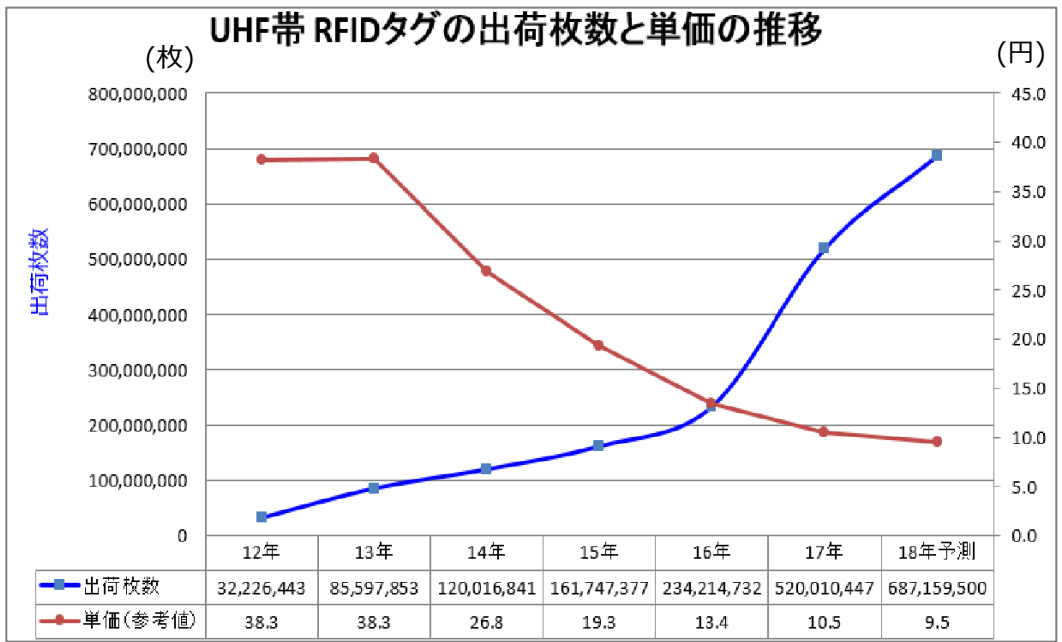
修理できる販売店が少ない
導入台数が少ないことが多く、
1台故障すると業務が止まる

業務専用機が続々とスマートフォンに置き換えられています！

②RFID化の流れ

政府からもRFID化の実験の実施などさまざまな施策が展開されており、タグの低価格化も進む中でRFIDを利用した業務の自動化・効率化のニーズが高まっている。

タグの価格低下にあわせて実運用が拡大



UHF帯電子タグの価格動向

出展：一般社団法人日本自動認識システム協会

経済産業省は、2017年4月にコンビニ各社と「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」を、2018年3月に日本チェーンドラッグストア協会と「ドラッグストアスマート化宣言」を策定し、各種運用実験を進めている。



2019年2月12日より、電子タグを用いた情報共有システムの運用の実験を開始

③RFIDの製品開発

特許製品等（出願中含む） 独自製品を多数展開

- ◆ かごを置くと中のタグだけを
確実に読み取る
RFID専用レジ台

レジでの効率化、
人件費の削減はもちろん
商品の入出庫管理などに
レジ以外でも幅広く
利用可能



特許取得・譲渡済

※参考ページ参照

- ◆ 世界初の伸縮タイプのRFIDリーダー



倉庫上段などの
高所にある商品を、
地上から手軽に
読み取ることが可能



特許出願中

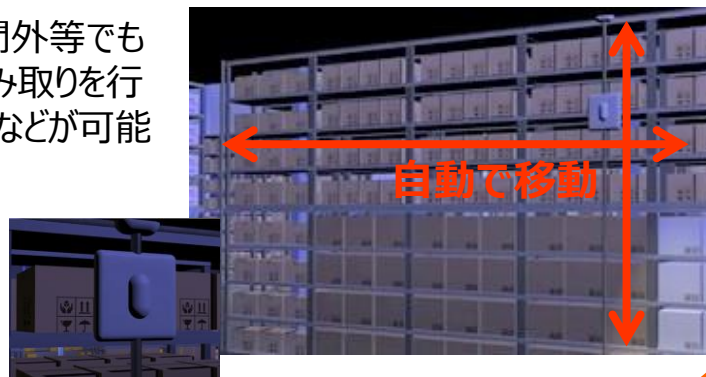
- ◆ RFIDゲート

箱の中の製品に貼付された
タグの方向が不規則でも、
確実に読み取ることが可能
読取精度が格段に向上



- ◆ 動くアンテナ

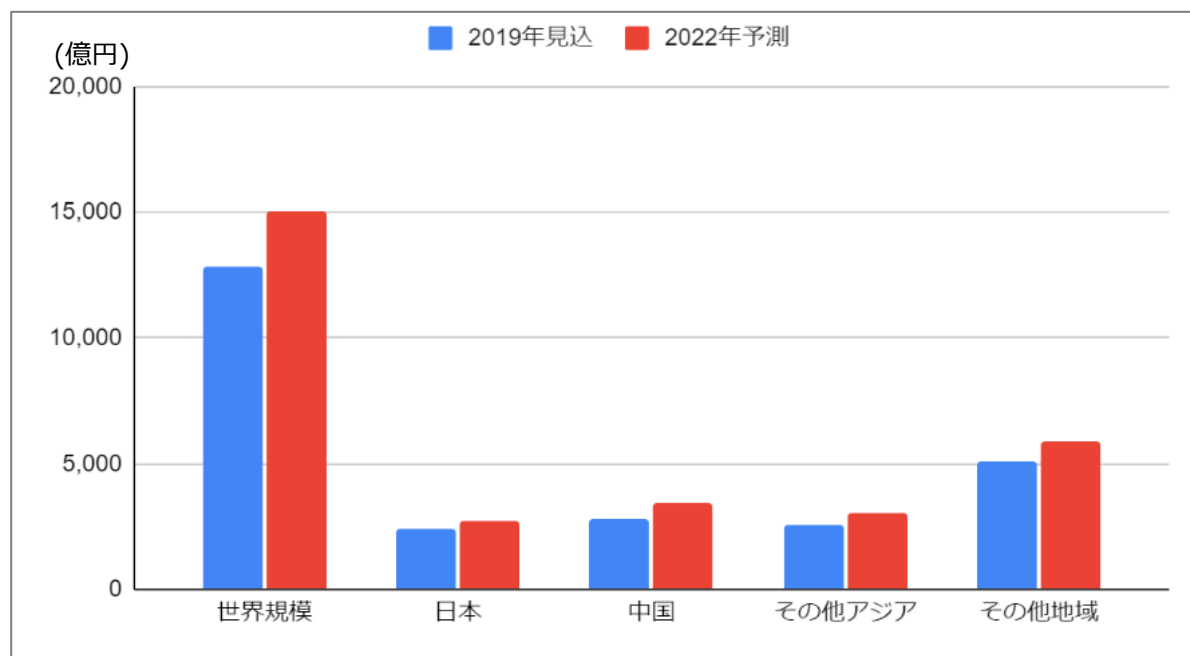
営業時間外等でも
タグの読み取りを行い、
棚卸などが可能



特許出願中

画像認識ソリューションの市場規模

画像処理システム世界市場
(株式会社富士経済 2020年3月発表資料)

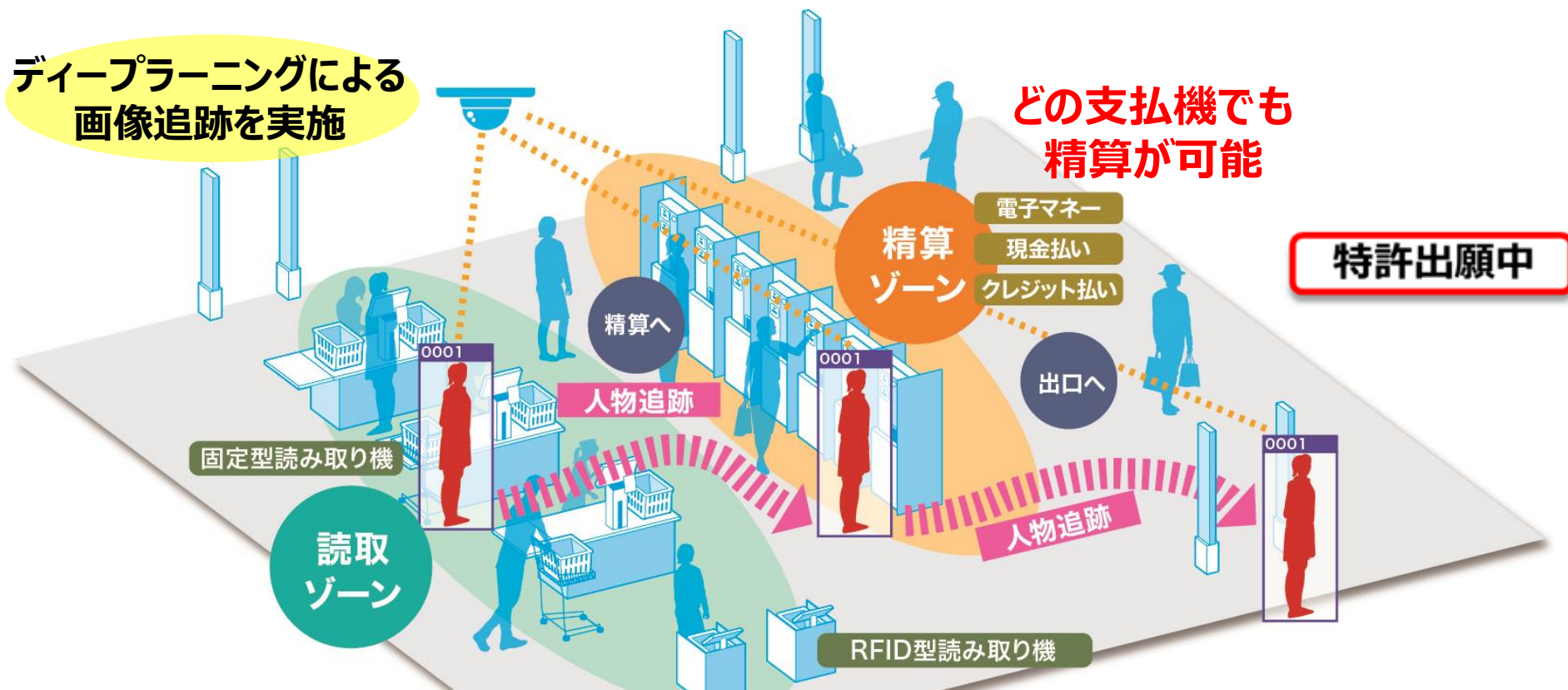


AI・ディープラーニング応用製品を中心に、画像処理システムの世界市場は拡大することが予測されております。当社グループは、次のような画像認識技術を活用したソリューションの提供を行っております。

- ・人検出・動体追跡技術を用いた「セミセルフレジ」
- ・画像認識技術で侵入禁止ゾーンを監視しておき、当該ゾーンへの侵入者を知らせるセキュリティシステム

画像認識ソリューション -画像認識を活用したセミセルフレジ

商品読み取り後、人物と会計データを紐づけて人物を画像追跡することで、どの支払機を利用しても、人物から紐づけられた会計データを表示することができ、精算を行うことが可能。レジ待ち時間の削減となり、小売業界や飲食店などのさまざまな店舗での展開が可能となります。



商品読取方法は商品の特性にあわせ効率的なものを選択。
読み取りゾーン的方式（バーコードやRFID）、精算機の種類など、
様々な組み合わせが可能。

画像認識ソリューション -AsWatcher

画像認識

AsWatcher

カメラ画面内で設定したエリアに人が侵入したことを検知し、その情報を他の機器と連携します。例えば、危険ゾーンへの侵入防止などを目的に駅ホームでの酔客転落防止、高齢者の徘徊や乳幼児の生活行動監視、工場や倉庫内での安全確保、セキュリティゲートなどでの利用を想定しております。

◆ ゾーン監視用のカメラの販売 (2021年7月15日発表：年末発売予定)



ゾーン外への移動検知用警報機



<活用例>

■ 対象区画への立ち入り制限

移動検知用警報機

TOFカメラ

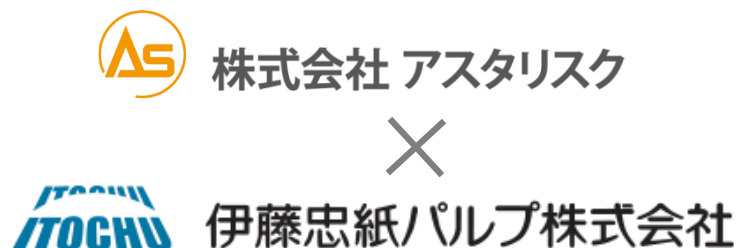


画像認識で区画を監視しておき、危険地域等対象区画へ立ち上がった場合には警報を鳴らすなどセキュリティ等への活用も可能

◆さらなる地域密着化を促進するため、名古屋事務所を開設

事務所を増設し、お客様への細やかな対応を促進しております。

◆大手事業会社との資本業務提携や アメリカのソフトウェア企業との業務提携を実施



伊藤忠紙パルプ(株)との資本業務提携
2019/5/31に調印式を実施



◆さまざまなキャリアやスマートフォンメーカーとの協業

企業向けへのスマートフォン販売促進を行っている国内携帯通信キャリアやスマートフォンメーカーとの協業を進め、当社グループの主力製品であるAsReaderシリーズの販売拡大を進めております。

<協業提案の一例>

通信キャリア様やスマートフォンメーカー様がスマートフォン拡販のための営業ツールとしてAsReaderの装着による業務改善を提案するリーフレットを作成し、展開。



海外拠点

アメリカ・欧州に販売拠点を設置し、海外でも積極的に販売展開を推進



- 2012 /5 中国・大連市にモバイル端末用システム開発拠点として、大連明日星科技有限公司を設立
- 2015 /1 米国・カリフォルニア州にAsReader, Inc.を設立
- 2017 /10 中国・深圳市に研究開発の技術センターとして大連明日星科技有限公司深セン分公司を設立
- 2018 /2 オランダ・ロッテルダムにAsReader Europe B.V.を設立

海外での成長要因・競争優位性

大型案件の受注による水平展開

◆ 大手飲料メーカー

大手飲料メーカーで商品管理用としてバーコードリーダーを導入



◆ 警察

IDカードのバーコード読み取りによる個人管理と入退室管理で使用



◆ 国際宇宙ステーション

国際宇宙ステーション内で備品がそろっているかのチェック、モノ探しにGUNタイプのAsReaderを使用



◆ 牧場でのLF帯RFIDリーダーライター

耳にLF帯のICタグ



牧場で家畜の個別識別管理に活用

◆ 消防署

欧州域内の鎮火後の消火現場での備品管理用として使用
世界最大規模の消防車開発会社で、製造されている消防車にパッケージされた形で展開

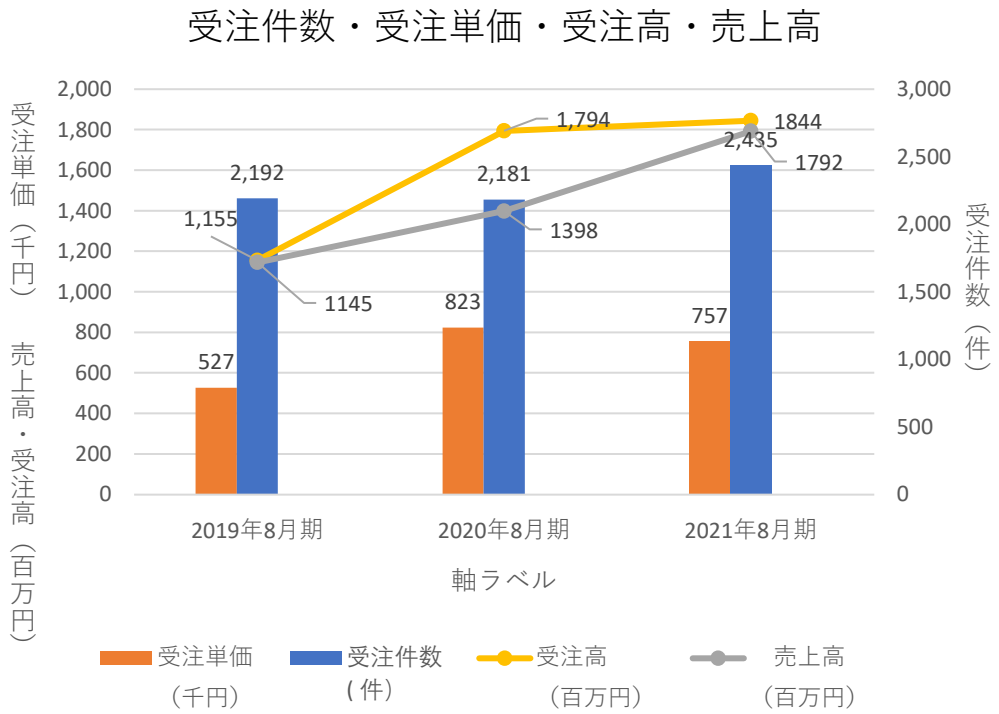


5. 事業計画



(1)経営指標 (KPI)

当社グループでは受注高をKPI(Key Performance Indicators)としております。
 当社グループ製品に対する将来需要を表す尺度であり、将来業績の先行指標として機能し、今後の経営成績と強い関連性があります。将来業績にとって重要な指標であり、事業活動におきましても常に受注高を意識して行動し、当社グループの業績評価の指標としています。
 受注高 = 受注件数 × 受注単価(注)であることを常に念頭におき、「受注件数」をいかに増やし、「受注単価」をいかに上げるかを、営業活動の行動規範としています。また、これら構成要素を分析して、現状認識、課題確認、戦略立案に活用しています。



2021年8月期は、前期比で次のとおりになりました。

- ・受注件数+254件(前期比+11.6%)
- ・受注高+50百万円(前期比+2.8%)
- ・受注単価△66千円(前期比△8.0%)

日々の営業活動により、前年と同程度の受注件数と受注高は獲得することができましたが、前期と比較して中小規模の受注案件が増加したことにより、受注単価は前期比減少の結果となりました。

(注)受注単価：受注高÷受注件数により算出される、平均受注単価になります。平均受注単価を追うことにより、当社グループの獲得案件についての分析(案件の大型化・小型化など)を行うことに活用しております。

(2)直近実績

単位：百万円	2020年8月期(実績)		2021年8月期(実績)	
	(実績数値)	前期比	(実績数値)	前期比
売上高	1,398	22.1%	1,792	28.2%
売上総利益	650	16.5%	837	28.7%
売上総利益率	46.5%	△2.1pt	46.7%	0.2pt
販売管理費	538	9.3%	610	13.4%
営業利益	112	70.5%	226	102.0%
営業利益率	8.0%	2.3pt	12.6%	4.6pt
経常利益	101	7.3%	238	135.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	68	△4.2%	173	152.1%

当社グループでは、中長期的な成長を維持する観点から画像解析技術をはじめとした技術開発を積極的に進め、さまざまな業界のDXのためのソリューションの提供を拡大してまいりました。海外におきましては、米国の牧場向け、飲料メーカー向けなどの案件を進めるとともに、新規顧客開拓に鋭意努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績は次のように着地いたしました。

- ・売上高1,792百万円
(前年同期比28.2%増)
- ・営業利益226百万円
(前年同期比102.0%増)
- ・経常利益238百万円
(前年同期比135.3%増)
- ・親会社株主に帰属する
当期純利益173百万円
(前年同期比152.1%増)

(3)業績予想

単位：百万円	2021年8月期(実績)		2022年8月期(計画)	
	(実績数値)	前期比	(計画数値)	前期比
売上高	1,792	28.2%	2,508	39.9%
売上総利益	837	28.7%	1,161	38.8%
売上総利益率	46.7%	0.2pt	46.3%	△0.4pt
販売管理費	610	13.4%	774	26.8%
営業利益	226	102.0%	387	71.1%
営業利益率	12.6%	4.6pt	15.5%	2.8pt
経常利益	238	135.3%	383	60.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	173	152.1%	260	49.8%

国内では自動販売機メーカー、流通業者、自動車メーカー向け、医療機関向け、調剤薬局向けの納入を見込んでおります。海外では米国子会社では、飲料メーカー向けの新規大型案件の納入や医療業界向けの案件を見込んでおり、前年度比で大幅な増収を見込んでいます。一方オランダ子会社はまだ営業基盤の構築過程にはありますが、商材管理や在庫管理に関する導入交渉を進め、案件化に向けて取り組んでおります。

前述の結果、2022年8月期の連結業績見通しは、次のように計画しております。

- ・売上高2,508百万円
(前年同期比39.9%増)
- ・営業利益387百万円
(前年同期比71.1%増)
- ・経常利益383百万円
(前年同期比60.6%増)
- ・親会社株主に帰属する
当期純利益260百万円
(前年同期比49.8%増)

6. リスク情報



	主なリスク	発生可能性	影響度	対応策
事業全般	当社グループの主要な市場である国及び地域の経済環境、社会的及び政治的動向、景気後退による個人消費や民間設備投資の減少によって、当社グループが提供する製品・サービスの需要の減少や価格競争に進展する可能性があります。	低	中	優位な品質とコストを実現するための革新的な新技術の確立を目指しており、特許出願も進めてまいります。
海外生産	当社グループの主力製品AsReaderシリーズは、大半が海外企業のEMS生産となっており、Apple製品用の機器はAppleのMFi認証の認定工場である韓国のSPS社のみ生産が可能です。当該生産拠点においては、予期しない法律や規制の変更、経済的変動及び政治的混乱等のリスク、地震など大きな災害発生のリスク、委託企業の経営悪化による生産への影響リスクが存在いたします。	低	大	委託先企業との良好な関係の構築、維持に努めること、生産拠点の分散、生産技術の蓄積、自社生産のノウハウ獲得などの対策を講じてまいります。
品質に関するリスク	当社グループは、新製品も断続的に上市していくこととしています。このような状況下で、従来の知見にない品質上の課題が発現し、当該トラブル解決のための費用発生や品質に起因する販売の遅れ、従業員の人為的ミスまたは不測の事態の発生等による保守・製品保証に関する費用の発生などにより当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。	中	中	新製品について様々な角度から検証を行い評価する時間を踏まえたプロジェクト管理を行い上市の遅延による損失の回避を行ってまいります。

※事業等のリスクについて、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）に掲載のリスクの中から、当社が特に重要と考えているリスクを抽出して記載しております。その他の事業等のリスクについては、新規上場申請のための有価証券報告書（Iの部）「第一部企業情報 第2事業の状況 2事業等のリスク」に記載しております。

下記、取得済み特許の他、出願中の特許も多数

■国内特許

ステータス	対象範囲
特許成立	Magconnの充電がついたリーダー
	キーボードアプリでのバーコード制御ができる
	2つ以上の媒体のカバーを変えることによって使える
	外付けレーザーユニット。PCT出願の日本移行
出願中	20件
特許譲渡済み	6件

■外国特許

特許申請ルート	対象範囲	PCTルート：移行国、パリルート：出願国
PCTルート	AsRingとしての役割	米国（成立）/欧州（出願中）/韓国（成立）
	外付けレーザーユニット	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（出願中）/韓国（成立）
	指差しでのリードユニット。Finger AsReader	米国/欧州/中国/韓国（すべて出願中）
	RFID棚。電波遮断のための棚の改良	米国（出願中）/欧州（出願中）/中国（成立、実用新案）/韓国（出願中）
	AsLock	米国/欧州/中国/韓国（すべて出願中）
	Finger-Type	米国/欧州（すべて出願中）
	パスポートリーダー	PCT出願のみ
	3枚羽のアンテナ	PCT出願のみ
パリルート	バズーカータイプ	PCT出願のみ
	2つ以上の媒体のカバーを変えることによって使える	米国（成立）
	AsRingとしての役割。	中国（出願中）

PCTルート：特許協力条約（PCT:Patent Cooperation Treaty）に基づく国際出願であり、日本国特許庁等の指定官庁に対して出願手続きを行うことにより、条約加盟国全てに同時に特許を出願したのと同じ効果が得られる。

パリルート：パリ条約、に基づいて、権利を取得したい国に個別にそれぞれ出願する方法

（特許係争に関する注意事項）

株式会社ファーストリテイリング（株式会社ユニクロと株式会社ジーユーを含む。）と係争中の特許（特許第6469758号等、以下「当該特許類」）につきましては、一連の特許全てを株式会社NIPに譲渡しております。

当該特許類は、複数の商品が入ったカゴをレジの所定の場所に置くと、商品ごとに取り付けられているRFIDタグを読み取り、商品と購入額を特定し会計を行う、セルフレジで使われている特許になります。

当該特許類に関する裁判や特許庁での対応につきましても、すでに株式会社NIPが主体として実施されております。

（当該係争の当社グループに与える影響）

当社は発明者の立場であり、無効審判等の参加人や差止請求時の請求人として名前は残っておりますが、特許無効化の動きに対して抗弁するためであり、上述のとおり全ての判断は譲渡先である株式会社NIPが行っております。このため、当該特許類に関する裁判の判決結果及び損害賠償やライセンス料における交渉等の進展があった場合でも、株式会社NIPと当社の特許譲渡契約において、当社に責任が及ぶものや当社が受領する対価はなく、今後の当社グループの経営成績への影響はございません。

なお、当該特許類の譲渡と同時に当社は当該特許類の実施許諾を株式会社NIPより受けて今までどおり商品やサービスの提供を継続することが可能ですが、当該特許類を用いた製品・サービスの提供を予算には織り込んでおりません。したがって、当該特許類の特許存続がどのような結果になっても、予算の達成に与える影響はございません。



ASX-100R発売
**AsReader.
誕生!**
2013.10



2014.08
ASX-510R発売



2014.07
この時期に、**RFIDリーダーライター**
登場!
ASX-300R/ASX-30RT発売
(ジャケットタイプのAsReader)

2015.01
ASX-520R発売

2015.10
ASR-030D発売

ASR-010D/ASR-020D発売
DOCK-TypeのAsReader
iPhone本体サイズ
バリエーションに対応!

2015.06



AC2016開催
2016.10



2016.12
RFIDリーダーライター
とバーコードリーダー
の1台2役が登場!
ASR-0230D/ASR-0240D発売



2016.11
画像認識技術
研究開発開始

ASR-R250G発売
10m超の長距離
読み取りを可能にした、
GUN-TypeのAsReader
2017.05



ASR-P50N発売
RFIDモジュールと
アンテナを分離した
据置タイプのAsReader
2017.08

2017.12
Android用DOCK-Type
バーコードリーダー
ASR-A11DB発売

2017.03
HID入力も可能な
卓上タイプのRFIDリーダーライター
ASR-P30U発売

CAMERA-Typeに
OCR機能が追加
2018.10

2018.04
バーコードの
ソフトウェアデコーダー。
iPhoneがそのまま
バーコードリーダーに!
AsReader CAMERA-Type発売



RFID Reading Tubの
ベースとなる読み取り装置の
特許取得(特許6469758号)
2019.01



ASR-L251G発売
2019.11



2020.02
ASR-P51N発売

2020.03
Android用
DOCK-Type
RFIDリーダーライター
ASR-A30D-V2B発売

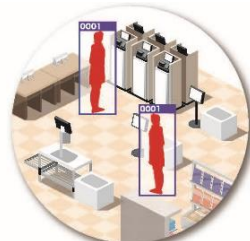
ASR-R202G発売
長距離2D
バーコードリーダー
2020.06

2020.08
ASK通信で自販機と
通信が可能に!
Android用 ASKリーダー
ASR-A60D発売

2020.04
FINGER-Type
AsReader
ASR-023B発売



ASA-401T発売
AsBeacon
2020.08

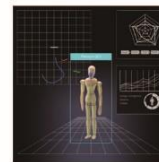


AC2020開催
2020.08



動体認識技術を
活用した
セルフレジを発表
2021.03

2020.10
動体追跡技術の
開発に成功



2021.06 発売予定
Wired BOX-Type
ASR-032W

MORE

DXをさらに進化させるAsReader

IoT × **AsReader**®  Digital Transformation

「モノ認識」と「モバイル」を中心に
IoTで世界を変える

アスタリスクはIoTを中心にお客様の業務をよりよく改善する
お手伝いをさせていただきます。

株式会社アスタリスク

- ◆本資料は、情報提供のみを目的として当社が作成したものであり、当社の有価証券の買付けまたは売付け申し込みの勧誘を構成するものではありません。
- ◆本資料に含まれる将来予想に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予想に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報及び成長余力等が含まれます。そのため、これらの将来予想に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。当社は、記載内容に重要な変動がある場合を除き、本資料の記述を修正する予定はありません。
- ◆本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な社会構造の変化に関する情報等の当社以外に関する情報が含まれています。当社は、これらの情報の正確性、合理性及び適切性等について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてこれを保証するものではありません。
- ◆当資料のアップデートは今後、本決算後11月頃を目途として開示を行う予定です。